

指定管理者評価シート

一 管理運営の状況

1	施設名	仙台市東四郎丸児童館
2	指定管理者	特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家
3	指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで
4	施設の利用状況	<p>《利用者数》 16,891人（前年度比 107.9%） 平成28年度 15,651人 平成27年度 14,855人 平成26年度 13,534人</p> <p>《事業》 児童に健全な遊びを与え、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とした児童厚生施設としての事業</p>
5	収支の状況	<p>《費用》</p> <p style="text-align: right;">（ ）は前年度決算額</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者に支払った費用 26,558千円 （ 18,580千円） ・ その他市が負担した費用 0千円 （ 0千円） <p>《収入》</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用料収入 0千円 （ 0千円） ・ その他収入 0千円 （ 0千円）
6	利用者の声	《実施状況》 利用者アンケート、にこにこ児童館応援隊、児童クラブ保護者懇談会を実施。

二 管理運営に係る評価

（モニタリングシートの結果によって評価）

評価分野	所見	評価
I 総則	児童館の設置目的を踏まえた施設運営上の基本方針を定め、職員への共通理解を図るとともに、館内掲示、ホームページ等で利用者にも周知している。また、地域の特性を生かした各事業に取り組み、施設目的の達成に努めている。	S
II 施設の運営管理体制	職員の配置や業務内容の共有、開館の実績、経理書類の作成、個人情報の保護等について適切な運営管理体制が構築されている。また、施設内外の日常点検及び定期点検、マニュアル等の整備、毎月の避難訓練の実施等、安全に留意した運営に取り組んでいる。	S
III 施設・設備の維持管理	日常的・定期的な保守点検や清掃により、建物、設備、外構等が適切に維持管理されている。備品や鍵の管理も適切に行われているほか、施設内外の巡回や仙台市環境行動計画に則った取組みが実施されており、安全で快適な環境が保たれている。	S
IV サービスの質の向上	名札の着用、館内掲示による職員紹介、児童館だけの発行やホームページの更新による利用情報の提供等、利用者が利用しやすい環境づくりに取り組んでいる。また、各種研修への参加を通して職員の専門性を高めているほか、意見箱の設置、アンケートの実施等を通して利用者のニーズを把握し、施設運営に生かすなど、サービスの質の向上に努めている。	S
V 施設固有の基準	児童クラブの活動では、継続的にランチ作りの活動を取り入れているほか、放課後子ども教室と毎月コラボ行事を実施し、児童クラブ以外の子どもの交流や活動の場を設けている。小学生を対象に地域の遊び場や放課後の居場所作りに取り組むほか、高学年や中高生を対象に遊びや学習で集える居場所を提供している。中学校区内の小中学校と連携事業を行うなど、育成支援への関係作りに取り組んでいる。	S

三 その他特に評価すべき優れた取組み

(指定管理者の優れた取組みを評価する 加点要素)

評価すべき取組み		取組み状況
1		
2		
3		
加点評価		—

四 評価総括

《指定管理者（特定非営利活動法人FOR YOUにこにこの家-）による自己評価》
<p>平成29年度は 家庭、学校及び地域がつながって子育て・子育て支援を行うことが大切と考え、家庭、学校及び地域との連携に特に力を注いで児童館運営を行ってきた。</p> <p>子どもたちの貧困から生じる成長の歪みの連鎖を少なくし、子ども達の心の育みと親の可能性を引き出したいと考え、特に放課後健全育成事業(児童クラブ)運営に力を入れてきた。12月の保護者会では、保護者の方に児童館での子ども達の顔を映像で見させていただき、子ども達は毎月練習している音楽隊の発表をし、「にこにこギネス」にチャレンジしてもらおうという遊びも取り入れて親子でロング海苔巻きを作り、大家族のようにみんなで美味しい海苔巻きをいただいた。親子で同じ時間を持つこと、子どもの笑顔を見ること、子どもの頑張りを知ることから、家庭の小さなつながりを結び直せたらと願って行っている。また子ども達がいろいろなことを体験すること、いろいろな方に出会うことも子ども達の心の成長につながると考え、地域の福祉施設の方を招いて子ども達が接待したり、ハロウィーンの変装をして施設を訪問したり、かにかことうちゃんS'の「かにか村の秋まつり」に子どもボランティアとして参加したり、児童館のお祭りで神輿担いで町内を歩き回ったりと児童クラブの子ども達が自分たちから地域に出て行くことを進めてきた。この児童クラブの子どもボランティアを「チームかにか」と名付け、平成30年度も活動を展開する。企業さん達のグループ「由本さんとゆかいな仲間達」も毎年2回カフェやフットサル教室を開いてくれ、子ども達の笑顔を引き出してくれている。</p> <p>また子どものことや家庭のことを学校と共有することから、子育て・子育て支援がより具体的にできると考え、学校との話し合いを定期的及び随時行ってきた。今後も家庭や学校と共に、子どもたちの未来を応援する児童館運営を職員一丸となって実施する。</p>

《施設設置者（仙台市）による評価》	総合評価
<p>子どもが高齢者、障害者等多様な人・世代と交流し、地域に関わる機会の提供や、地域ネットワークの構築、情報交換、共催行事等を通し地域全体で子どもを育む環境作りに積極的に取り組んでおり評価できる。東中田子育てネットワークでは近隣児童館3館、区家庭健康課、東中田保健センター等が共催で行事を実施し、地域交流や子育て家庭支援に取り組んでいる。発達障害のセミナーを児童館で実施するほか、障害児を持つ家庭の子育て支援として毎月の懇談会や活動の場を提供している。また、安全学習に積極的に取り組み、防災・減災を踏まえたまち探検やマップ作りを子ども達と行うほか、110番の家めぐりを実施している。</p> <p>児童クラブでは、保護者支援や家庭と連携した育成支援に取組み、毎月児童クラブ通信を発行しているほか、年に3回の保護者懇談会では、音楽隊の発表など子どもの活動の様子を見てもらう場を作っている。児童クラブ保護者組織主体の親子交流行事「ロング海苔巻き作り」で保護者・親子交流を図るほか、地域の父親の活躍の場を支援している。</p>	S

◎ 評価担当課（施設所管課）：子供未来局子供育成部児童クラブ事業推進室